

今週のメニュー

■トピックス

◇日本建築学会（名古屋）において検証経過報告

－塩ビサイディングによる塩害抑制効果、硫黄害抑制効果検証－

樹脂サイディング普及促進委員会

■随想

◇びっくり闘病記（その4）－困った時の神頼みとアントニオ猪木さん－

関東学院大学 織 朱實

■編集後記

■トピックス

◇日本建築学会（名古屋）において検証経過報告

－塩ビサイディングによる塩害抑制効果、硫黄害抑制効果検証－

樹脂サイディング普及促進委員会

9月12日（水）～14日（金）、名古屋大学において(社)日本建築学会2012年度大会が開催され、「塩ビサイディングによる鉄筋コンクリート構造物の塩害からの保護効果」「塩ビサイディングによる鉄筋コンクリート構造物の硫黄害からの保護効果」について経過報告の発表が行われました。

これら研究については過去に本メールマガジンにおいてもご紹介していますが、鉄筋コンクリート建築物を塩ビサイディングで覆うことにより塩害や硫黄害の影響から建築物を保護し、長寿命化に寄与することができないかを検証しているものです。

具体的にはコンクリート躯体への塩分や硫黄分の浸透量や、含水率、鉄筋の腐食、塩ビサイディングの耐候性、塩ビサイディング取付金物の耐久性に関し塩害については沖縄（辺野喜）、北海道（泊）、千葉（習志野）、硫黄害については鹿児島（霧島）における曝露試験を通じてデータを取得し検証を行っています。

塩害は2009年7月から日本大学、琉球大学と共同で、硫黄害は2010年12月から九州大学、日本大学、琉球大学と共同で試験を行っており2～3年が経過しています。

塩害については過日、3年経過の試験体を回収したばかりで今回の報告に含めることができませんでしたが、促進試験、曝露試験により得られたデータから、塩ビサイディングは飛来塩分のほとんどを遮蔽しコンクリートへの塩分浸透を防ぐことが確認されました。実際に試験体中の鉄筋を取り出してみたところ、塩ビサイディングが施工されていない場合では鉄筋が錆びていましたが、塩ビサイディングが施工された場合では鉄筋に腐食は見られず塩ビサイディングの鉄筋コンクリート構造物に対する保護効果が確認されたとの報告が行われました。

硫黄害については2年弱経過という状況で、今回の報告は1年経過の曝露試験により得られたデータの発表となり、現時点では有意な現象を把握するには至っていない状況ですが、コンクリート表面を塩ビサイディングで覆うことによりコンクリート表面のSO₂（亜硫酸ガス）、H₂S（硫化水素）の濃度を低減することが確認されました。コンクリート強度の目安となる圧縮強度、静弾性係数等のデータについては現時点では有意な差は無く更なる検証が必要。との報告が行われています。

いずれの試験も自然が相手であり、結論を得るまでには今しばらく時間がかかりそうですが、塩ビサイディングが塩害や硫黄害のある地域においても建物躯体を保護し建物の長寿命化に貢献できる結果となることを期待して、今後とも引き続きデータの集積を行い建築学会等の場をお借りし報告して行きたいと考えています。

最後になりましたが、今回の発表に当りデータの解析、原稿の作成等ご尽力を頂きました日本大学/湯浅昇教授、琉球大学/山田義智教授、九州大学/小山智幸准教授および学生の皆様に厚くお礼申し上げます。



ご協力いただいた
湯浅教授/小山准教授



当協会の発表者

■ 随想

◇びっくり闘病記（その4）－困った時の神頼みとアントニオ猪木さん－

関東学院大学 織 朱實

今回の記事は、前回に続き、生来の楽道家で、大手術前でも普段の生活はさほど変わらず（むしろ周りがびっくりするくらい呑気に）、そんな私でも、心が折れそうな時もあり、思わず神頼みをしました、というお話です。

さて、写真はなんでしょうか？答えは、湯島天神の^{うそ}鶯さまです。鶯替え神事は、毎年1月25日に湯島天神で行われます。昨年の凶を「うそ」にして木鶯を神社へ返納し新しいうそに取り（鳥）替える事で本年を吉運へ転ずると云う行事で、鶯様に、「凶」を嘘にして「吉」に変えてもらうというわけです。なんととはなしに落ち着かない日々を過ごしているとき、偶然地下鉄の駅で鶯替え神事のポスターを見つけたのです。



「10万分の1の病気というのは、かなり凶なのでは？で、その凶を吉に変えてもらえたら、それは、凄い吉になるのでは？娘の大学受験も、見事成功！かも～（ついでに手術も）」という単純な発想で、この「鷺」さまを娘と二人でゲットしにいこう、と娘（大学受験）と相談して、日程の調整。ところが、1月25日はあいにく外せない会議があり、まずは湯島天神に電話をかけて

「1月25日に用事があって、27日の朝にしか行けないのですが、大丈夫でしょうか？」

「例年30日くらいまであるので、大丈夫ですよ」

こんなやり取りをしたのち、呑気に27日に湯島天神にいったら、なんと！なんと！今年は、もうない！とのこと。大ショックです。

「電話かけて確認したのに～」思わず泣き言もでてしまいます。

「本当にすみません。今年は、ツイッターで流れたようで、初日の早い時間で全部なくなってしまったのです」震災もあり、みなさんこの凶を吉に変えたいと思ったのでしょうね。がーん！！せめて、写真だけでも、と去年の鷺様を写真に撮らせてもらいました（上の写真。大小とあります）。

ないものは仕方ない、諦めるしかない。でも、でも鷺様本当に入手したかったのに。可愛いし、こんな10万分の1の不幸なんて一生ないかもしれない、と思ったら、なぜか泣けてきてしまいました。病気が発見されてから、一度も、泣いたことも、動揺したこともなかったのですけれど（気持ちが折れて、暗くなったことはありましたが）、鷺様が手に入らないと分かった瞬間、ぽろっと涙がこぼれていたのです。

「あ～、もうダメかも。運が悪いんだな」とか。実際、木工細工のお守りが手に入らないだけのことなので、そんなことで泣いてしまうなんて、かなり情けないのですけどね。

一緒に手に入れられなかった人が、「亀戸天神でもやっているそうですよ」と教えてくれて、亀戸天神に電話したら、「携帯用の小さいのならあります」とのこと。

娘に、「仕方ないからね。携帯用でも手に入れればいいじゃない」と慰められ、本当に泣く泣くあきらめて、湯島天神様にはお参りして、亀戸には取り置きをお願いして、そのあとフルーツホットケーキを食べに万惣へと向かうことにしました。ところが、その道すがら、なんとびっくりするような経緯から、湯島天神の鷺様が1体手に入ったのです！（本当に、本当に、有難かったです。様子を見ていて、追っかけてくださった方がいらっしゃり）。その方も、もう一度逢えたら、という感じで、ご近所の家にある鷺様を取りに帰って下さったのです。私たちはお参りをして、屋台を冷やかしながら湯島天神を出ようとしたところでばったり！！その時、裏口から出なければ、その方も「会えなければ会えないで」と思っていたらっしゃったようで、見も知らずの方で、さらに直接話をしたわけでもないのに、「困ってらっしゃるようだったから」と。本当に有難かったです。

そのあと、あった友人に、「普段、あまりこういうこと信じていないのに、泣くほどなんで、情けないよね」と話したら

「そんなことない！はやぶさの川口教授も、最後は神頼みだったのよ。あれだけ最先端の科学技術を集めたプロジェクトも最後は、祈るしかなかったのですって。成功するため川口教授は、日本中の「飛ぶ」に関連する神社にお参りしたそうよ」と元気が出るエピソードを聞かせてもらい、「そっか、そうだよ～、最後は神頼みしてしまう気持ちって恥ず

かしくないよね」と自分を納得させました。で、そのあとは手術までちょっとでも時間があると、熱田神宮や神田明神、だーっと駆け込み、「娘が合格しますように！ついでに手術も成功させてください」とお祈りしまくり、普段の態度からすると節操なさすぎ？な状態に。

さらに手術2日前、入院前に名古屋に出かけた際は、なんと闘魂のアントニオ猪木さんが新幹線でお隣の席に。常勝の勇者、アントニオ猪木さん、これはお力をもらわないと！ということで、厚かましく、「明後日、大切なイベントがあるので、勝てるように握手お願いします」とお願いしたところご快諾いただき、握手と「闘魂！」というサインをいただきました。鷲様のパワーとアントニオ猪木氏の闘魂エネルギーを蓄えつつ、いよいよ入院！です。

今回は、いよいよ入院、手術の様子です。

写真は、夏休み家族旅行のカンボジアアンコールワット遺跡群の写真です。カンボジアは本当に素晴らしいところで、是非再訪したい国の一つになりました。詳細は、私の[ブログ](#)で。



アンコールトム



バンテアンスレイ遺跡



クパールスピソ遺跡



アンコールワットの朝焼け

前回：[びっくり闘病記（3）－手術までの過ごし方－](#)

■ 編集後記

彼岸に入りましたが関東地方はまだ大変高い気温が続いています。暑さ寒さも彼岸までとありますが、早く涼しくなってほしいものです。最近、夜間の気温は少し下がってきましたが、昼間の暑さがこもり、まだエアコンのお世話になっています。

昼間の日射も例年以上に強く感じるのは気（歳？）のせいでしょうか。早く秋が来ないかと祈る毎日です。ところで、異常な夏でしたが今冬の気温はどうなるのでしょうかね。(可)

■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 東 幸次

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601

■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp>

■E-MAIL info@vec.gr.jp